# 令和８年度　小谷村教育委員会９月定例会　会議録

◎開催日時　令和８年９月２５日　（金）
　　開会：16 時 30 分　　閉会：17 時 25 分

◎開催場所　小谷村教育委員会　　相談・応接室

◎出 席 者　　教 育 長　　関　　芳明
　　教育長職務代理者　太田　久吉
　　教育委員　　片山　弥生
　　教育委員　　松澤　彰一
　　教育委員　　深澤　和子

◎傍 聴 者　　な　し
◎職務のため出席した者　　教育課長　佐藤　孝行

１　開　　会　（16：30）
○教育長　令和８年度小谷村教育委員会９月定例会の開会を告げる。

２　日程の報告
日程第１　前回会議録の承認
○教育長　　事前に送付させていただきました会議録について確認する。
特段の意見なし
承認

日程第２　教育長事務報告
○教育長　　８月の定例教育委員会から本日までの教育長出席について、次第裏面の記載のとおり報告。

日程第３　報告及び協議
○教育長　　児童生徒の様子についてですが、資料 1 について中学生議会があり、生徒６名から一般質問がありました。答弁は村長が行い、教育委員会関係の「学校用品の無償化と給食費の完全無償化」については私から答弁させていただきました。小谷村の今後の子育て支援の充実についてどのように考えているか。については、子どもが生まれる前から、相談体制をとっていきたいということ、保護者の働き方や家庭環境が多様化する中で必要とされる支援をしていきたいと答弁しています。給食費の完全無償化については、10 月から無償化にすることを議会でも答弁させていただいています。給食の質の担保については、主食のご飯やパンは、地元食材を使っており、評価をいただいていますので継続できるように努めていきたいと答弁しています。

○教育長　　資料１について、ご質問等ありますか。
○片山委員　子ども議会はいつから始まりましたか。今後も継続されることになりますか。
○教育長　　中学生が議会で行うのは初めてです。総合発表会で発表がありましたが、小谷学で議会のことを学んでいますのでこれからも継続されると思います。
○片山委員　ケーブルテレビで視聴しましたが、大人の視点では気づかないことを見て、質問されているので、いろいろ考えていると思いました。
○深澤委員　小学生の模擬議会の時は、小学生に解るように説明したと思いますが、中学生の答弁はきちんとされていると思います。
○教育長　　中学生議会の関係もあり、総合発表会小谷学の発表で、１年生は防災学習、２年生は国際交流、３年生は福祉についてということで、しっかりできていました。村の方々からもご協力いただいて学習できたことについても感謝申し上げたいと思います。
○教育長　　資料２については、９月議会一般質問で、３名の議員から教育委員会に関する質問をいただいています。曽根原議員からは、「学童保育のさらなる充実について」ということで、行政支援はどのようなものか。指導員の処遇改善は進んでいるか、専門性はどのように担保されているか等について質問をいただき、記載のとおりの答弁をさせていただいます。柴田議員からは、「人口対策について」質問をいただき、本年度生まれる子どもが４人と想定していまして、ここまで減ることは予想していなく、単年度だけでは分かりませんので、翌年度以降見ながら考えていかなければならないと答弁しています。出生数は昨年度、村の総合計画の後期計画で作成した推計で見込みますと令和 12 年は 10 人、令和 17 年は 9 人、令和 22 年は 7 人、令和 27 年は 7 人、令和 32 年は 6 人、令和 37 年は 5 人、令和 42 年は 4 人となっています。複式学級の質問については、国の基準ですと二つの学年を合わせて 16 人以下ですが、県独自基準では 8 人以下になっていますので、8 人以下になると複式に該当することになります。山村留学の可能性については、センター方式ではなく、親子山村留学的な形にはなると思いますが、年度単位で子どもたちが入れ替わることになりますので、学校に負担にならないようにサポート体制を作っていかなければならないと答弁しています。田原議員からは、「教育現場における防災教育の現状と課題について」質問をいただき、中学 1 年生は防災キャンプで避難所のベット設営や炊飯をしたり、神城断層地震の体験された話を聞き学習していることを答弁させていただいています。
○教育長　　資料 3 については、総合教育会議資料となります。児童、推移の見込みは、令和 8 年度の出生見込みが 4 人で、今後推移していくことにいくことになり、令和 14 年度には小学校は 76 人、令和 20 年度には 33 人の見込みとなります。できれば、複式学級まで至らず、毎年 10 人程度を見込み、通常の学級でできればと希望していますが、住居や、仕事など絡んできますので、これからの政策になっていくと思います。教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画については、作成時、更新時には総合教育会議に諮ることとされていますので、当日説明させていただきます。意見交換で、教育委員さんから話題にする事項はありますか。
○片山委員　小学校遠足の中止の理由は、緊急対応ができないことと熊出没についてですか。
○教育長　　安心安全を考えた時、万が一の時に通信網の関係と緊急車両の対応ができ

ないこと、県から熊についての安全確保に関する通知が出ていることです。
○片山委員　子どもたちが塩の道遠足に行けるような対策はできないですか。
○教育長　　先生方が不安に思っていることを出していただいて、解決方法を考えていくようにしていきたいと思います。
○深澤委員　少しでも危険なことがあれば、止めてしまう方向になってしまっていて、小谷の子どもらしい、逞しさが見られなくなってしまうと思いますし、他の受け皿があってもそこに参加することも少ないかと思います。
○教育長　　安全第一で考えていかなければなりませんが、対策してやっていかないと、難しいと思っています。
○松澤委員　蜂に刺されたり、予測のできないこともあるので、親子遠足みたいな感じで大勢で行くことも考えられると思います。
○深澤委員　大声を出したり、笛や爆竹を鳴らしたり、対処法を子どもにも学習してほしいと思いますし、先生方に全て任すのではなく、他の方から協力することでできる方向になると良いと思います。
○片山委員　学校と保護者で悩んでいるところを村で協力して大事にして村の願いとして考えていただきたい。
○教育長　　直ぐに答えはでませんが、ご意見として出していただきたいと思います。

○教育長　　当面の予定については、記載のとおりですが、質問を含めて自由討議をお願いしますが何かありますか。
　○出席委員　一同特になし

日程第５　次回委員会の開催予定
○教育長　　次回委員会ですが、10 月 26 日月曜日の 16 時 30 分から定例の教育委員会を行うということで予定していただきたいと思いますが宜しいでしょうか。
○出席委員　一同了承
○教育長　　閉会を告げる。

（17：25）